

## 単収と品質を両立させたいいちじく栽培

### 経営体の概要

基幹作物:いちじく

経営面積:0.8ha

### 取組の経緯と営農転換のポイント等

養鶏が盛んで、鶏糞が容易に入手できる立地条件を活かし、土作りによる高品質ないちじく栽培を目指し、水稻栽培といちじく栽培を行ってきたが、いちじく専作に転換した。

現在、いちじく専作農家として親子で営農している。

### 営農改善のポイント

#### ①栽培技術の確立・向上

ハウスでの加温栽培、無加温栽培いちじくの品質を比較したところ、無加温栽培の方が甘みと風味が充実していた。

そのため、収穫量よりも品質を重視した無加温栽培に取り組んでいる。いちじくは甘みが高く、香りの良い「榊井ドーフィン」品種を栽培している。(ハウス栽培では、10aあたり約1500箱分、3tの収量がある)

また、和歌山県や愛知県など他県への視察も行うなど、ハウス栽培技術の向上に努め、ハウス栽培を主とし、収量より品質を重視した生産を行っている。



いちじくのハウス栽培

#### ②流通・販売の工夫

収穫期が過ぎた時期にも収益が得られるように、いちじくをジャムに加工するなど、工夫のある取組みを行っている。



いちじくの出荷状況

#### ③省力化

かん水チューブ(塩ビ管)によるかん水を行っており、安定した品質のいちじくを生産している。

### 事業概要

事業種:国営総合農地防災事業

関係市町:奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・葛城市・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・明日香村・広陵町

受益面積:3,112ha

事業期間:平成5年～平成18年

事業目的:農地防災

主要工事:堤体工:95箇所、取水口・底樋:183箇所、洪水吐工:80箇所、しゅんせつ工:34,000㎡ 護岸工:1,741m、水路工:1,101m

位置図(奈良県)



<局問い合わせ先>

近畿農政局 農村計画部

資源課 営農担当

電話:075-451-9161

(内線:2452)

(平成22年調査時点)